

拝啓 夫 ●●永眠の際は、御丁寧なお心遣いをいただき

誠にありがとうございます。

闘病生活は約四年に及びましたが、先生をはじめ医療関係者の方々のご誠実な治療、また皆さまからのたくさんのお励ましに支えられ、夫があきらめることはございませんでした。

最期は感謝の言葉を繰り返し、自宅にて、最後の一息まで家族と共に過ごすことができました。

お陰さまで、葬儀は三月二十七日に、夫の愛した関門海峡と高杉晋作像の見下ろす桜のほころび始めた日和山の近くにて執り行うことができました。

夫へ生前お寄せくださいましたご厚情に

あらためて御礼申し上げます。 敬具

平成二十二年 月



関門海峡を望む 高杉晋作